

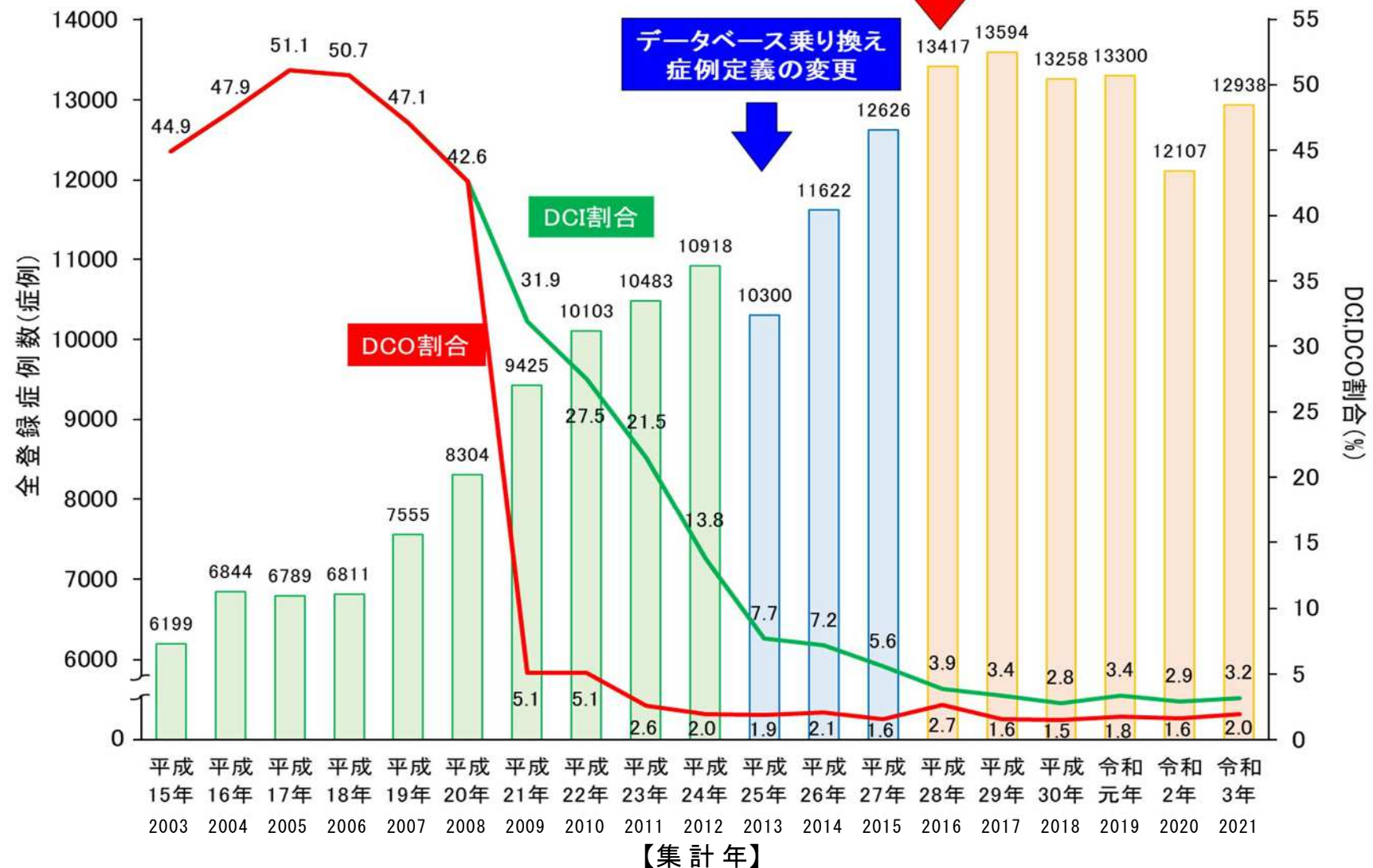
青森県がん登録事業の実施状況について

青森県がん・生活習慣病対策課

2025(令和7)年12月15日

青森県がん登録事業の実施状況

○がん登録罹患数等年次推移



DCI割合＝死亡情報からがん罹患を把握した症例の割合(登録率の指標)

DCO割合＝遡り調査でも死亡情報しか把握できなかった症例の割合(登録データの正確性の指標)

⇒いずれも数字が小さいほど精度が良く、DCOは国際的な水準では10%以下であることが求められる。

○青森県のがん登録精度向上のための取組

■ follow back(遡り)調査(H24～継続実施)

地域がん登録標準 DBSによる運用	死亡小票のみで登録されている腫瘍(対象者)を抽出し、死亡診断した医療機関に、登録票と同じ様式(遡り調査票)による罹患情報の届出を依頼する。
都道府県標準 DBSによる運用	がん登録等の推進に関する法律第11条に基づき把握した死亡者情報のみで登録されている腫瘍(対象者)を抽出し、死亡診断した医療機関に、全国がん登録遡り調査票による罹患情報の届出を依頼する。

実施年度	調査対象		医療機関数 (依頼)	医療機関数 (有効回答あり)	届出 件数	調査対象年 の全登録数
2017年 (H29)	2014年症例 (H26.1～12月)	地域がん 以降、 全国がん	183 (県内:167、県外:16)	164 (県内:148、県外:16)	1,220	11,622
2018年 (H30)	2015年症例 (H27.1～12月)		177 (県内:157、県外:20)	155 (県内:137、県外:18)	998	12,626
	2016年症例 (H28.1～12月)		85 (県内:85、県外:0)	62 (県内:62、県外:0)	455	13,417
2019年 (R1)	2017年症例 (H29.1～12月)		102 (県内:102、県外:0)	80 (県内:80、県外:0)	389	13,594
2020年 (R2)	2018年症例 (H30.1～12月)		95 (県内:95、県外:0)	90 (県内:90、県外:0)	422	13,258
2021年 (R3)	2019年症例 (H31.1～R元12月)		79 (県内:79、県外:0)	77 (県内:77、県外:0)	429	13,300
2022年 (R4)	2020年症例 (R2.1～12月)		73 (県内:73、県外:0)	72 (県内:72、県外:0)	366	12,107
2023年 (R5)	—		全国がん登録システム不具合により実施なし			—
2024年 (R6)	2021年症例 (R3.1～12月)		73 (県内:73、県外:0)	67 (県内:67、県外:0)	361	12,938
2025年 (R7)	2022、2023年症例 (R4.1～R5.12月)		86 (県内:86、県外:0)	79 (県内:79、県外:0)	675	未定

青森県がん登録事業に係る資料利用に関する取扱要領に基づく申請利用の承認状況

申請者	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
国立がん研究センター がん対策研究所国際政策研究部 部長 松田 智大	地域がん登録の匿名化情報 (1993年から2015年診断の、青森県全域のがん登録データ)	否	1993年以降の全国のがん罹患を把握し、詳細部位別、年齢階級別、性別、組織型別・治療法別に年次推移や地理的分布を集計する。さらに、がん登録データの精度を考慮した上で、診断年別、詳細部位別、年齢階級別、性別の生存率の年次推移や地理的分布を集計する。	がんの罹患・生存率を性別、年齢階級別、がん種別で経時的及び地理的に分析することにより、がん罹患リスクの解明や、がん医療水準の向上及び均てん化に役立てる。	2023年8月8日 ～ 2026年3月31日 (利用中)	2023年 7月25日	2023年 8月8日	厚生労働科学研究費補助金研究報告書、日本癌学会、日本疫学会、国際がん登録協議会、日本がん登録協議会等の学術集会での発表及び査読のある学術雑誌への論文発表(英文)を行う予定。

青森県全国がん登録に係る情報の提供に関する事務処理要領に基づく申請利用の承認状況

※がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)

申請者	根拠法※	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
弘前大学大学院医学研究科医学医療情報学講座 教授 松坂 方士 (申請時) 弘前大学医学部附属病院 准教授 松坂 方士	法第21条第9項	2013(H25)年～2019(R1)年の県内がん登録データ	否	CONCORD-4に参加し、本県のがん登録情報を提供することで、本県のがん生存率を世界比較するため。	標準的な品質管理基準とすべてのデータセットに同じ解析方法を用いて、がん生存率の国際比較を行う研究であるCONCORDチームへデータの提出を行う。	2023年6月28日 ～ 2028年12月31日 (利用中)	2023年 5月22日	2023年 6月28日	日本がん登録協議会学術集会(2026年6月頃)、日本公衆衛生学会総会(2026年11月頃)にて発表予定であり、2027年2月頃に論文投稿により公表予定。

申請者	根拠法	資料内容	個人同定の可否	利用目的	研究方法・内容	資料の利用期間	申請日	承認日	結果の公表
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (がん検診精度管理事業分)	法第18条 第1項	2019(R1)年度～ 2020(R2)年度の県内 18市町村のがん登録 データ	可	がん登録データ等から参加 市町村のがん検診精度を評価し、課題を把握することにより、市町村がん検診の精度向上を図り、今後のがん対策の企画・実施に活用していく。	参加市町村の2019(R1)年度のがん検診データと2019(R1)年度～2020(R2)年度のがん登録データの照合により感度や特異度を算出し、参加市町村全体、市町村ごとのがん検診精度等を比較・考察し、精度管理向上に向けた課題等を明らかにする。	2024年12月10日 ～ 2026年3月31日 (利用中)	2024年 10月25日	2024年 12月10日	事業報告書として公表する。(令和7年度) なお、青森県事業報告後、報告書を引用する形で厚生労働科学研究費補助金(がん政策推進総合研究事業)「がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究」班からも結果が公表される。
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (青森県がん登録報告書分)	法第18条 第1項	2021(R3)年の県内がん登録データ	否	青森県内のがん罹患や死亡の状況について考察することで、今後のがん対策の企画・実施に活用していく。	青森県内の2021(R3)年のがん登録データについて、罹患の概要、死亡の概要等をとりまとめ、5年生存率等を算出し、青森県内のがん罹患や死亡の状況について考察する。	2024年12月10日 ～ 2026年3月31日 (利用中)	2024年 10月25日	2024年 12月10日	全国がん登録青森県がん登録報告書として公表する。(令和7年度)
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (がん検診精度管理事業分)	法第18条 第1項	2020(R2)年度～ 2021(R3)年度の県内 17市町村のがん登録 データ	可	がん登録データ等から参加 市町村のがん検診精度を評価し、課題を把握することにより、市町村がん検診の精度向上を図り、今後のがん対策の企画・実施に活用していく。	参加市町村の2020(R2)年度のがん検診データと2020(R2)年度～2021(R3)年度のがん登録データの照合により感度や特異度を算出し、参加市町村全体、市町村ごとのがん検診精度等を比較・考察し、精度管理向上に向けた課題等を明らかにする。	審査中	2025年 10月7日	審査中	事業報告書として公表する。(令和8年度) なお、青森県事業報告後、報告書を引用する形で厚生労働科学研究費補助金(がん政策推進総合研究事業)「がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究」班からも結果が公表される。
青森県 がん・生活習慣病 対策課 (青森県がん登録報告書分)	法第18条 第1項	2022(R4)年の県内がん登録データ	否	青森県内のがん罹患や死亡の状況について考察することで、今後のがん対策の企画・実施に活用していく。	青森県内の2022(R4)年のがん登録データについて、罹患の概要、死亡の概要等をとりまとめ、5年生存率等を算出し、青森県内のがん罹患や死亡の状況について考察する。	審査中	2025年 10月7日	審査中	全国がん登録青森県がん登録報告書として公表する。(令和8年度)